

## 第4次

概要版

# 湖西市多文化共生推進プラン

## 基本理念

みんなが笑顔でくらす多文化共生のまちづくり

## 到達目標

| 指標                               | 現状               | 目標  |
|----------------------------------|------------------|-----|
| 日本人市民に親しみを感じる外国人市民※ <sup>1</sup> | 37.1%<br>(2024年) | 45% |
| 外国人市民に親しみを感じる日本人市民※ <sup>2</sup> | 39.9%<br>(2025年) | 50% |
| 「多文化共生」という言葉の認知度※ <sup>2</sup>   | 42.9%<br>(2025年) | 50% |

※<sup>1</sup> 外国籍市民意識調査（湖西市 市民課）

※<sup>2</sup> 湖西市市民意識調査（湖西市 企画政策課）

## 計画期間

2026（令和8）年度から2033（令和15）年度までの8年を計画期間とします。

なお、計画期間の中間となる2029（令和11）年度に中間見直しを行います。



## 基本方針

- ① 日本語教育支援の充実【湖西市地域日本語教育推進方針】
- ② こどもの教育環境の整備
- ③ 労働環境の向上と安定
- ④ 安心安全な生活環境の整備
- ⑤ 共生の意識醸成と地域参加の促進

## 基本方針 1

### 日本語教育支援の充実（湖西市地域日本語教育推進方針）

#### 湖西市における日本語教育推進の目的

本市では、日本語教育の推進が、地域の活力向上に寄与するとの認識のもと、外国人市民（こどもを含む）が地域で共に暮らすために必要な日本語を学べる環境を整備し、その学習支援に日本語教育関係者や地域住民が参画できる体制を構築することで、多様な文化を尊重した活力ある多文化共生のまちづくりを実現することを目的としています。

#### こども・若者

- 年齢、滞在年数、母語等、こども・若者の個別性に配慮した日本語学習環境を整えることで、こども・若者の成長や学習、キャリア形成を支援します。

#### 大人

- 外国人市民が、自立した生活を送るために必要な日本語が習得できる環境を目指します。
- 外国人市民が、本市の文化や習慣、暮らしを学べる日本語学習カリキュラムを取り入れます。
- 地域日本語教室は、外国人市民と日本人市民の双方にとって、相互理解と多文化共生の場となることを第一とします。
- 企業・経済団体への情報提供を行います。

| 指標（KGI）                                              | 現状    |   | 目標    |
|------------------------------------------------------|-------|---|-------|
| こどもが日本語で学校の授業を理解することが<br>難しいと感じる保護者の割合               | 35.7% | ▶ | 30%   |
| 聞くこと<br>（相手の話し方や内容がはっきりしていれば、<br>ほとんどわかると自己評価した人）    | 21.3% | ▶ | 25.0% |
| 話すこと<br>（家族、旅行、趣味など簡単な日常会話ができると<br>自己評価した人）          | 29.6% | ▶ | 34.0% |
| 読むこと<br>（仕事の簡単なマニュアルや、インターネットの<br>簡単な記事を読めると自己評価した人） | 16.6% | ▶ | 19.0% |
| 書くこと<br>（自分のことや日常生活について、<br>短い文を書くことができると自己評価した人）    | 16.2% | ▶ | 18.6% |

## 基本方針2

## こどもの教育環境の整備

教育制度や学校生活への理解を深める情報提供を行うとともに、進路相談やガイダンスの機会を確保します。さらに、関係機関との連携や教職員等への研修を通じて、多様な背景を持つこどもたちが学習に取り組みやすい環境づくりを進め、外国人児童生徒やその保護者が、安心して学び、将来に希望を持てることを目指します。

| 指標（KGI）                                         | 現状    |   | 目標  |
|-------------------------------------------------|-------|---|-----|
| 「こどもが学校や幼稚園・保育園・こども園で<br>困っていること」が「ない」と回答した人の割合 | 16.1% | ▶ | 25% |

## 基本方針3

## 労働環境の向上と安定

外国人市民が安心して働き、地域で自立した生活を営むためには、就業の機会や労働環境の向上が欠かせません。ハローワーク等と連携し、相談体制の整備や就業支援イベントを実施することで、安定した雇用と生活基盤を確保し、外国人労働者と地域の双方にとって持続可能な労働環境を実現することを目指します。

| 指標（KGI）                       | 現状    | 目標  |
|-------------------------------|-------|-----|
| 「仕事のことで困っていること」が「ない」と回答した人の割合 | 53.1% | 60% |

## 基本方針4

## 安心安全な生活環境の整備

外国人市民が安心して暮らすためには、生活に必要な情報や行政サービスが理解しやすい形で提供されることが不可欠です。多言語・やさしい日本語による情報発信や窓口対応を強化するとともに、防災・防犯・医療・福祉など生活に直結する分野での支援を充実させます。また、相談窓口や通訳体制を整備し、生活全般の安心・安全を支える体制を構築します。

| 指標（KGI）                             | 現状    | 目標  |
|-------------------------------------|-------|-----|
| 「生活や将来のことで不安を感じること」が「特にない」と回答した人の割合 | 47.2% | 50% |

## 基本方針5

## 共生の意識醸成と地域参加の促進

多文化共生社会の実現には、地域住民一人ひとりが互いを尊重し、理解し合う意識を育むことが重要です。市民への広報や啓発、交流イベントを通じて多文化理解を広げるとともに、自治会や防災活動など地域への参加を支援します。外国人市民や市民団体等と協働し、誰もが地域の一員として参画できる共生の基盤形成を目指します。

| 指標（KGI）                                      | 現状    | 目標   |
|----------------------------------------------|-------|------|
| 「日本人との付き合いを持ったことはない」と回答した人の割合                | 6.5%  | 5.0% |
| 「日本人は地域の活動に外国人を積極的に受け入れたほうがよい」が「賛同」と回答した人の割合 | 70.8% | 80%  |

第4次 湖西市多文化共生推進プラン【概要版】 令和8年3月

発行：湖西市市民安全部市民課

〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地

電話：053-576-1213